

## 博士論文審査要旨

### 論文審査担当者

主査	明星大学	教授	佐々井利夫
委員	明星大学	教授	高島秀樹
委員	明星大学	教授	岡本富郎
委員	広島文化学園大学	客員教授	森下恭光

申請者氏名 富岡 直樹

論文題目 岡山藩教育内容の考察

---閑谷学校と岡山藩学校との対比を中心として---

### (論文審査の結果の内容)

本研究は、岡山藩の教育の様相について、藩学校と藩営の郷学である閑谷学校との対比を通して明らかにしようとして試みたものである。主として3つの視点から考察されている。すなわち、1点目は二つの学校の教育内容を教育方法の視点から検討する、2点目はそれぞれの蔵書を取り上げて時代背景を考慮しつつ比較検討する、3点目は二つの学校の比較を通して、岡山藩における地方と中央、豪農と藩士の関係性も浮き彫りにする、である。

#### ・本研究の意義

1. 閑谷学校の蔵書構成の変遷を明らかにし、教育内容の移り変わりを考察した点である。閑谷学校の初期に所蔵された陽明学の書が幕末期に需要を増し、岡山藩内だけでなく各地から人材が集まった、などの考察が示された。また閑谷学校の書には学習の痕跡や落書きなどがあり、藩学校の書の保存状態に比較し、学習者が気軽に書を手にしていったことなど細部にわたる考察がある。
2. 1.に関連して、岡山藩学校と閑谷学校の蔵書の一覧表を作成しており、後学の資料を提供した。

3. 卒業生及び関わった人物の交流、教員の悩みなど、藩学校や閑谷学校をめぐる多くのエピソードを取り入れ、今後の研究のさらなる可能性を示している、などが指摘できる。

・本研究の問題点

1. 上述した3つの視点を中心に論じているが、具体的な記述を多く取り入れたため、論理の構成が粗雑な点がある。
2. 先行研究を詳述し本研究の位置づけをもう少し明確にする必要がある。

問題点はあるにせよ、本研究は岡山藩の教育の研究に十分資するものと考えられる。

よって、本研究は博士（教育学）の学位を授与するに十分価値あるものと認める。

（試験および試問の結果の要旨）

口頭試問において、論文提出者に論文概要を説明させ、次いで上述にある、論文の意義や問題点を中心に質疑応答を行った。提出者は適切に応答した。慎重に審査した結果、合格と判定した。